



非常食の炊き出し



市民のひろば

救護訓練

春の全国火災予防運動期間中の三月九日、新細尾町グラウンドで、新細尾町防災会と消防署、第八分団の合同訓練が行われました。防災訓練は、大地震の発生により倒壊する家屋が続出。危険が切迫したとの想定で、消防署の広報車による避難広報で始められました。訓練に参加した防災会員三百人は、指定されたグラウンドにそれぞれ避難。

はじめて作る「非常食」

初期消火の重要性を体験

新細尾町防災会

その後、非常食の炊き出し訓練がありました。非常食は、縦三つ、横一〇つのビニール袋に米一合と同量の水を入れ、熱湯に約四分十分つけると出来上がります。救護訓練は、消防署救急隊が三角布の使い方や応急担架の作り方、人口呼吸などを披露。参加者は、思いがけない救護方法があるのに驚いていました。

初期消火訓練では、消火バケツの使用法、ぬらした布による消火法、消火器による消火など実地訓練。防災会の人たちは、初期消火活動の重要性を体験しました。この新細尾町防災会は、栃木県で二十七番目、市内で二番目に誕生した自主防災組織で、自分たちの地域は自分たちで守ろうと、住民の隣保協調の精神に基づき、二月二十四日に結成された組織です。

二月中に日光善意銀行に預託された方々は、次のとおりです。善意あふれたご協力に、深く感謝いたします。

(敬称略)

- ◎要援護者に ▽知野イネ (稲荷町三丁目) 千円
- ◎恵まれない子に ▽神山印刷所従業員一同 (松原町) 二千三百九十八円 ▽植木善見 (匠町) 二千元
- ◎下野三楽園に ▽竹沢啓三 (下鉢石町) 千円
- ◎交通遺児に ▽清滝四丁目育成会一同 一万七千二百八十五円
- ◎老人福祉に ▽鶴島俊一郎 (安川町) 千円 ▽白井はる (久次良町) 三万円

善意銀行

- ◎身体障害者に ▽親和会孔版社有志(清滝二丁目) 四千元
- ◎全国身障者スポーツ大会に ▽宮下直次(松原町) 一万元

【物品預託】

- ◎身体障害者研修会に ▽手塚トシ(下鉢石町) かんジュース七箱
- ◎寝たきり老人に ▽鶴島アヤ(安川町) おしめ二十枚

香典返し

廃止による寄付

- ◎老人福祉に ▽井上幸雄 (安良沢町) 五万円 ▽篠田英夫 (稲荷町一丁目) 十万円
- ▽山本正次(下鉢石町) 五万円
- ◎身体障害者に ▽大山徳一郎 (石屋町) 三万円



あかりはこまめに消していますか
ほこりなどたまっていますか

ストーブは、きれいに手入れをしていますか

石油ストーブのしん先がぞろいだったり、空気孔にほこりがつまっていると、エネルギー効率が低下するばかりでなく、不完全燃焼を起こすなど危険です。また、反射型のもは、反射板をよくみがきましょう。



カーテンは、厚地のものを天井から床までたらし、カーベットもできるだけ活用しましょう。